

政府補正予算をうけた大阪府補正予算(案)の概要 教育委員会事務局総額89億4154万円 財源の大半は国庫支出

支援教育課要求額 18億7724万円

施設課(支援学校関係)要求額 4億8702万円

89億4154万円のうちICT関連が50億8648万円

大阪府が策定した補正予算案が明らかになりましたので、その概略をお知らせします。なお、この補正予算案は、関係部局で最終的な調整の後、府議会にはかられます。特別支援教育に関しては、支援教育課要求額が18億7724万円、施設課のうち支援学校関係の要求額が4億8702万円となっています。

1 支援教育課要求額について

18億7724万円の内訳は、府立支援学校ICT環境総合整備事業と府立支援学校教育環境整備事業となっています。詳細は次のとおりです。

LAN工事事業
補正額…1億8900万円
内容…デジタル放送アンテナ配線工事および校内LAN配線工事
パソコン等購入事業
補正額…7億9901万円
内容…電子黒板機能付きデジタルTVを小中学部に各1台
校務用PCを教員1人に1台
教育用PCの整備など
の予算は全額国庫支出金によるものです。

(2) 府立支援学校教育環境整備事業
校舎改修工事費等
補正額…7億7203万円
内容…厨房・普通教室改修等工事費
児童生徒の増加に対応するための消耗品等整備
厨房改修に伴う備品・消耗品の整備費

仮設校舎移設工事費
補正額…5180万円
府立支援学校耐震改修工事
補正額…2745万円
内容…屋内体育館耐震改修工事
の予算のうち、約7億8036万円は国庫支出金によるものです。2009年度当初予算では、府立支援学校教育環境整備事業として、大阪府の一般財源より約2億3538万円が計上されています。今回の補正予算が確定すれば、一般財源からの予算措置はなくなります。

2 施設課要求額について
4億8702万円の内訳は、支援学校空調設備更新事業、支援学校太陽光発電設備設置事業、支援学校耐震大規模改修事業、支援学校電波障害対策施設対策事業となっています。詳細は次のとおりです。

1 支援学校空調設備更新事業
補正額…4762万円
内容…保健室等の空調設備更新工事
対象…23校
*全額国庫支出金です。

(2) 支援学校太陽光発電設備設置事業
補正額…8710万円
内容…太陽光発電設備設置工事および屋上防水、電気設備関連工事
対象…1校
*7310万円が国庫支出金です。

(3) 支援学校耐震大規模改修事業
補正額…3億3434万円
内容…耐震大規模改修工事および耐震補強工事を前倒しして実施
対象…2校
*2億7734万円が国庫支出です。

(4) 支援学校電波障害対策施設対策事業
補正額…1794万円
内容…既存の共同受信施設の地上デジタル放送対応施設への改修
対象…2校
*全額国庫支出金です。

3 新型インフルエンザ対策

(1) 衛生管理物品の購入
補正額…2520万円
内容…薬用ハンドソープ等の購入
対象…府立支援学校25校他、計16校
(2) 感染予防啓発パネルの作成
補正額…30万円
内容…「うがいの励行」「咳エチケット」「手洗いの仕方」のパネル
対象…府立支援学校25校他、計16校
(3) 支援学校給食保護者負担増の軽減
補正額…24万円
対象…5月18日(休校初日)、高槻支援学校他4校
(4) 修学旅行等の変更に伴う負担増の軽減
補正額…635万円
対象…支援学校7校、高等学校2校
*新型インフルエンザ対策の予算はすべて国庫補助です。

4 国の補正予算について

5月29日に成立した総額14兆円にもなる巨額の税金投入予算です。文科省の補正予算関係は総額1兆3千億円にのぼり、教育条件整備に4881億円を計上しています。そのうち2087億円は学校ICT環境整備予算です。学校施設改修に2794億円計上し、その中で公立小中学校の耐震化、太陽光パネルの設置、二重サッシなどのエコ対策、特別支援学校教室不足解消(2800教室)をおこなうとしています。これら予算は「地域活性化・経済危機対策臨時交付金(仮称)」として都道府県に措置される予定で、教室不足解消のためにしっかりと使わせるとりくみが求められます。